

藤三旅館
白猿の湯

花巻市

深さ日本一天然岩風呂

湯煙が立ち込める浴室内、つま先で底を探りながら、ゆっくりと身を浸す。天然の一枚岩をくりぬいたゴツゴツした湯船。深さの平均は125センチ、一番深いところで140センチある。立ったまま、あごまでつかう格好になった。

鉛温泉藤三旅館（花巻市）の「白猿の湯」は、自噴天然岩風呂として日本一の深さを誇る。温めず水も足さない100%の源泉が底から絶え間なく湧き出てくる。

13代目の藤井大斗社長（41）は「なぜ立ち湯にしたのか、とよく聞かれるが、湯船の深さは意図したものではなく、いわば偶然の産物」と笑いながら打ち明ける。

その昔「掘れば湯量が増えるだろう」と、湯の出が悪く

なるたびに掘り進めたという。浴室の床が地上から階段を20段降りた半地下にあるのも、そのためだ。

ある時、すぐそばを流れる豊沢川と同じ水深になり、川水の流入を防ぐため、それ以上掘るのをやめた、との言い伝えが残る。「現在の建物が完成した1941年ごろには、今の深さで落ち着いていた」と藤井社長。

約600年前、藤井家の先祖が泉で手足の傷を癒やす白猿を見つけたことが、温泉宿の起源という。「うちは、今も昔も泉質にこだわる風呂屋。本物の温泉をこの先も守っていきたい」（藤井社長）。長い間、地元の人々に愛され続けてきた理由が分かった気がした。

メモ 泉質はアルカリ性単純高温泉。「日本温泉遺産」にも選ばれている。日帰り入浴は午前7時～午後9時。「白猿の湯」は混浴だが、女性専用時間がある。入浴料大人700円、小学生以下500円、1、2歳児は無料。連絡先は0198（25）2311。

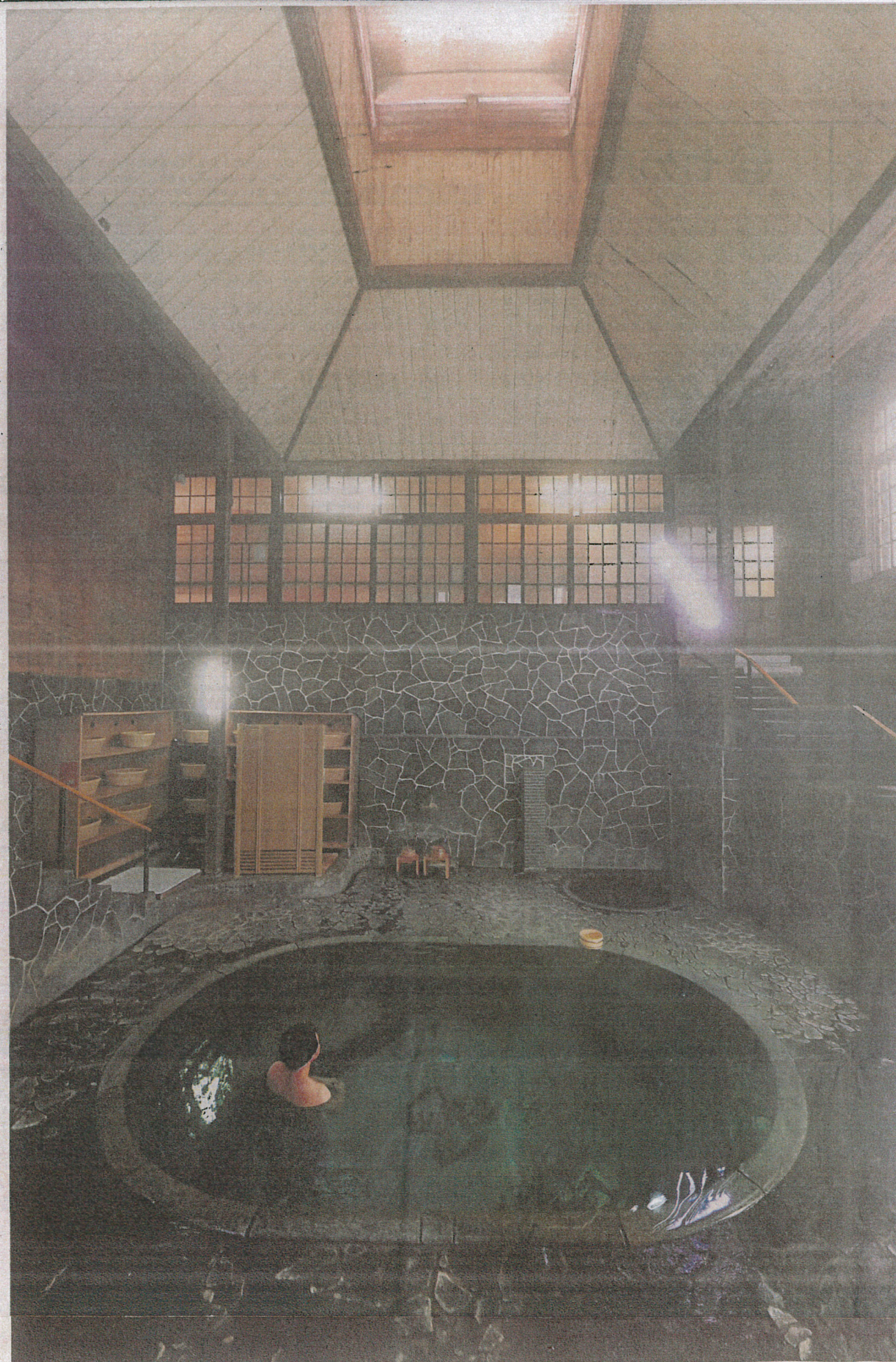
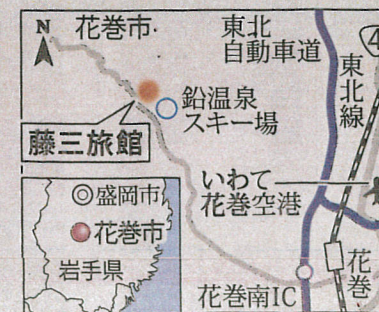
一般社団法人花巻観光協会職員
久保田理紗さん（29）



これいいね!

立ち湯は、湯圧が全身にかかり、新感覚の気持ち良さです。趣のある木造の建物も人気があり、何度も訪れる人が多いです。

市内には合わせて12の温泉があります。「花巻12湯」をゆっくり周遊して、ぜひお気に入りを見つけてください。



浴室の高さ約9mある吹き抜けは、湯煙を逃がすために設けられた。湯船から見上げると、開放感にも浸れる